

# 感謝所頭



横浜町長

石橋 勝 大

## 令和4年 年頭所感

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、令和4年の新春をお迎えし、ご家族お揃いで健やかに過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、全世界に広がった新型コロナウイルスが国内でも猛威を奮い、1月に首都圏に「緊急事態宣言」が発令されて以降全国に拡大、2月から国内におけるワクチン接種が開始されましたが感染は収まらず、4月には「まん延防止等重点措置」適用地域が指定されるなど、多くの感染者が報告されました。経済への影響

のほか、医療崩壊等が危惧されておりましたが、その後収束に向かい、9月30日をもって「全面解除」となりました。この間、コロナ禍により延期となり、開催が危ぶまれていた「東京オリンピック・パラリンピック」でしたが、無観客により開催され、それぞれ史上最多、史上2番目のメダルを獲得し、私たちに多くの夢と感動を与えてくれました。

県内に目を向けますと、新型コロナウイルスの集団感染が発生し、8月下旬には新規感染者数が1000人を超す日が出るなど、医療崩壊につながりかねない状況となり、県では9月の1ヶ月間「緊急対策パッケージ」を発出し、町においても、公共施設の休止、イベントの中止などの対策をとる事態となりました。

その後、感染者数は収束に向かいましたが、新たな変異ウイルスの発生など、今後の動向を注視し、一人一人の感染防止対策の徹底をお願いしたいと思います。

また自然災害では、8月には豪雨により隣接するむつ市で橋梁崩落が発生するなど、県内各地で甚大な被害が発生したのを目の当たりにし、改めて防災対策の重要性を実感

しました。11月完成の県の「横浜防災除雪ステーション」、12月締結の「災害時の飲料の確保」と「災害時の応急対策業務」に関する協定により今後に備えたいと考えております。

次に、当町の産業の状況をみますと、農業では、水稲の生育は順調に推移し、基準反収をやや上回る見込みですが、カメムシによる落等が平年より多くなりました。また、コロナ禍による外食向け需要の大幅な減少により、生産者概算金が過去最大の下落幅となり、米の生産費を下回る水準であることから、町では米生産農家に補助金を交付することを決めました。馬鈴薯は、反収増により収量は概ね平年並みとなり、ながいもは、平年をやや上回る収量が予想されますが、干ばつの影響による品質低下で、販売金額は平年を下回る見通しとなっております。にんにくやごぼうは概ね良好で、ごぼうについては、今後単価増が見込まれています。

漁業では、養殖ホタテでへい死が見られましたが、前年比数量で約11%の増、単価が約51%高と高値で推移し、金額で約68%増と前年度実績を上回る見込みである一方、鮮

魚については、数量で約15%の減、金額では微弱な減少が見込まれております。全体の総水揚げは約10.7億円と黒字決算が予想されますが、年明け出荷の耳吊りのへい死亡率が高いため、本年の水揚げへの影響が心配されております。

商業では、「菜の花フェスティバル」をはじめ多くのイベントが中止となり、長引く外出自粛により多大な経済的損失を受けたことから、町の景気回復策として「地域商品券」を給付する事業を実施しました。

現在も、コロナ禍による世界的な消費の停滞や原油高など地域経済への悪影響が懸念されており、今後も議会と十分に協議の上、町行財政の適正な運営を図り、皆さんとともにこの難局を乗り越えていく所存でありますので、町民の皆様方の更なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びにあたり、新年が町民の皆様にとって幸多い年でありまして、年頭のごあいさついたします。



横浜町議会議長

小川 和 男

# 令和4年 年

## 令和4年 新年の挨拶

新年あけましておめでとうございます。

令和4年の年頭にあたり、横浜町議会を代表いたしまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。町民の皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、平素から町議会への深いご理解と議会活動に対する温かいご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

議員各位とともに、円滑な議会運営と町民の生活・福祉の向上、更には町政発展のため一丸となって鋭意努力している所であります。まずは、東日本大震災から

10年となり、避難者は、約4万人に減少しておりますが、被災地の1日も早い復旧・復興をお祈りする次第であります。

当町においては、東日本大震災を教訓といたしまして防災訓練及び原子力防災訓練を行っているところであり、今後におきましても、災害に対する認識を深め、不時の災害に適切に対処し得るよう心の準備をしておくことが何よりも大切であると思っております。

一昨年から、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国各地の行事を始め、当町においても町最大のイベントの「菜の花フェスティバル」が2年連続中止となりました。

新型コロナウイルス感染症に対応するワクチン接種も進み、感染症も落ち着いてきたところではありますが、コロナウイルスの変異株の発生も確認され感染予防の取り組みを強化していかなければならぬところがあります。

昨年は、東日本の日本海側を中心に各地で大雪となり町もその影響を受けております。8月には、台風9号から変わった温帯低気圧の大雨の影響により、七戸町では川の

氾濫による被害を受け、風間浦村からむつ市にかけて、海岸沿いを中心に大規模な土砂崩れが発生し大きな被害を及ぼしました。特に風間浦村の下風呂温泉郷をはじめとする下風呂地区は土砂が住宅にも流れ込み、観光客を含む約600名が一時孤立する被害を受けました。これにより被害に遭われた方々には心よりお見舞いを申し上げます。

昨年の一次産業の農業の状況をみますと、水稲については作況指数でやや良となったものの、新型コロナウイルス感染症の影響で外食産業等の需要の落ち込みにより、主食用米の概算金の目安額の大幅な下落となりましたが、農家への主食用米生産農家再生産支援補助金により生産意欲向上と経営安定に向けた支援が図られております。また、当町の主要作物の、なたね・小麦・にんにく・馬鈴薯・ゴボウ・長芋については好天に恵まれ品質も良く収量も平年並みとなっております。

漁業関係については、養殖ホタテ貝のへい死はみられたものの、数量で前年比で約11%の増産、単価も51%高となりました。

商工観光関係については、新型コロナウイルス感染症の

影響による人流の減少が依然続き、非常に厳しい状況であります。町の臨時消費拡大支援給付事業、飲食業等支援給付事業及び商工会のプレミアム商品券発行事業等により地元商工業者の売上向上、コロナ対応の経済対策支援が図られております。

このような中で、当町が取り組まなければならない課題は多く、第一次産業の振興や福祉と医療の充実、教育環境の整備、防災への取組など、町民の皆様方から多くの要望が寄せられています。町の財政は依然厳しい状況であり、将来に備えて、町民の皆様方のご理解とご協力をいただきながら、行政改革と財政基盤の安定に努めているところであります。

議会といたしましても、町づくりの主役は町民の皆様方であることを念頭に、まちづくりに向けて努力して参りますので、なお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、町民の皆様方のご多幸を祈念いたしますとともに、本年も格段のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。